

『職業まるわかり講座』を実施して

H29.10

【進路指導部・1年学年会】



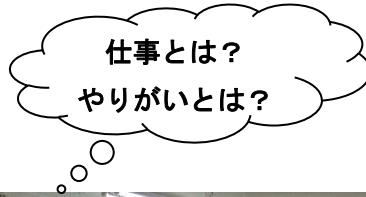
10月7日（土）に11名の保護者、卒業生をお招きして1年生対象に『職業まるわかり講座』を実施しました。社会で専門的な知識・技能をもって活躍されている方から直接お話を伺うことで生徒たちの進路意識を深めることができました。

講座番号	職業	6	看護師
1	中学校教諭	7	幼稚園教諭
2	技術職	8	金融機関職員
3	システムエンジニア	9	製造業
4	地方公務員	10	警察官
5	理学療法士	11	技術職



各講座の様子
みんな真剣に
聴いています





【生徒の感想】
(一部の講座のみ)

今回の講演を聞いて、理学療法士という仕事がとても大変だということが改めてわかりました。私は、理学療法士になりたいと思っています。今回の講演では、理学療法士という仕事は「資格を取ってからも勉強をし続けなければならない」、「どんな患者さんであれ平等にコミュニケーションを大切にしなければならない」、「患者を理解するために自分を理解しなければいけない」などを教えていただき、どれも今の自分には不足しているものばかりでした。理学療法士は、人と関わり、命にも関わる仕事です。当然、大変な仕事だけれど、患者さんを支援していく姿にとってもあこがれるので、できることは手を抜かずに頑張っていきたいと思いました。

中学校教師は仕事量が多くて、専門教科を教えるだけでなく、生徒指導や保護者対応、事務仕事までが業務で、子どもと接するだけでない裏側を知りました。しかし、授業は自分が作り上げるという楽しさや、子どもが分からなかったことを理解してくれたときにやりがいを感じると聞いて、やっぱり教師をやってみたいと思いました。また、今回は小学校のことも教えていただけて、私は小学校くらいの小さい子とも生活してみたいので、面白そうだと思いました。教師は人を教育するという点で考えて、すごく責任ややりがいのある仕事だと思います。でもその分大変で、面倒なことがあることも知ることができました。責任を持ってやり遂げるには、自分の気持ちも大切だと思うので、慎重な進路選択をしたいです。

市役所にはとてもたくさんの部署があり、公務員としてどんな仕事に就くか分からないということに驚きました。それは大変ではあるけれど、いろんな経験ができ、自分のやりたいことを見つけるきっかけになるとわかりました。どんな仕事についても市民のために動くことは同じであり、公務員の方々などの働きかけによって市がよくなっていることがよくわかりました。

これからの多くの選択の中で、目標や仕事を1つに絞らなくてもやりたいことをやってみることがよく、たくさんの経験・知識を積むことが自分自身を成長させてくれると感じました。また「やり続ければ成功する、あきらめなければ失敗しない」という言葉も、これからの進路の選択などで、迷うことや大変なことが多くあると思うけれど参考にしていきたいです。